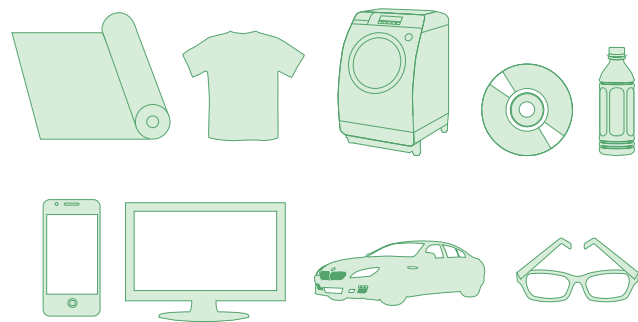


／／ そこにあるもの 使うもの
カワタの技術が生きています。 ／／



株式会社 **カワタ**

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15
TEL (06)6531-8211
URL <http://www.kawata.cc/>



KAWATA IR Report

株主のみなさまへ

第70期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

株式会社 **カワタ**

証券コード 6292



さまざまな分野に貢献するカワタの機器&システム

医薬品
Pharmaceuticals



食品
Food



金属
Metal



プラスチック
Plastic



化粧品
Cosmetics



セラミック
Ceramic



カワタの理想的な粉粒体のハンドリング技術が、幅広い分野と多様なニーズに、お応えしています

KAWATA's ideal powder and particle handling technology meets the diverse needs of a wide range of field.



顔料
Pigment



液晶用光学フィルム
Glass for LCD



レンズ
Lens



建材
Construction materials



リチウムイオン 二次電池
Lithium-ion rechargeable battery

WEBサイトのご案内

<http://www.kawata.cc/>



TOP MESSAGE

3ゲン主義を実践し、お客様満足を実現する製品とサービスを提供していきます

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第70期中間報告書をお届けいたします。
株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年12月5日

代表取締役社長
白井 英徳



第70期中間期財務ハイライト

売上高 **11,948** 百万円 前年同期比 **32.6%** 増

営業利益 **1,182** 百万円 前年同期比 **188.7%** 増

経常利益 **1,215** 百万円 前年同期比 **220.0%** 増

親会社株主に
帰属する中間純利益 **870** 百万円 前年同期比 **307.3%** 増

総資産 **22,392** 百万円

純資産 **9,258** 百万円

一株当たり
中間純利益 **122.92** 円

一株当たり
純資産 **1,285.58** 円

事業の概況

世界経済は緩やかに回復しておりますが、中東や朝鮮半島における地政学的リスクもあり、不透明な状況となっております。先進国におきましては、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、先行きに対する懸念が存在しております。一方、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになっております。

わが国経済は、世界経済の変調や急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される一方で、生産や設備投資は緩やかに回復を続けており、企業収益や業績判断も改善してきております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、平成29年10～12月は1兆1,873億円（前年同期比13.3%増）、平成30年1～3月は1兆2,168億円（同

10.6%増）、4～6月は1兆2,835億円（同17.8%増）、7月は4,268億円、8月は4,551億円と、増加傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当中間期における受注高は前年同期比28億1百万円増（同26.2%増）の134億7千9百万円、受注残高は前年同期比24億4千9百万円増（同39.0%増）の87億2千9百万円となりました。また、売上高につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調に推移したこと等により、前年同期比29億3千6百万円増（同32.6%増）の119

億4千8百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う売上総利益の増加と売上総利益率の改善（29.2%→31.1%）等により、営業利益は前年同期比7億7千3百万円増（同188.7%増）の11億8千2百万円、経常利益は前年同期比8億3千5百万円増（同220.0%増）の12億1千5百万円となりました。

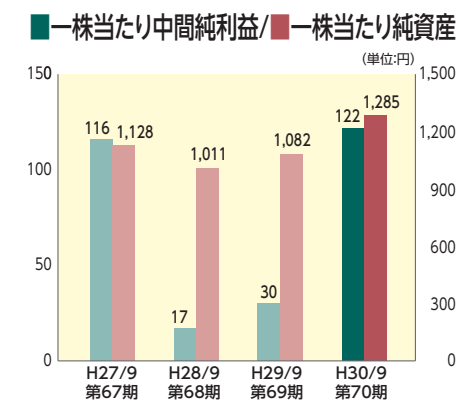
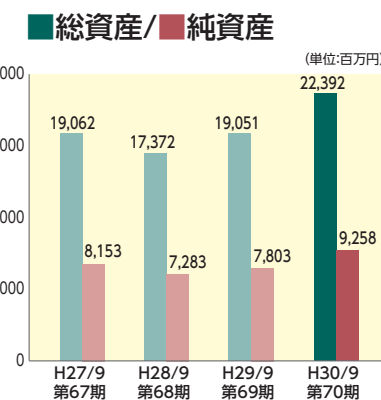
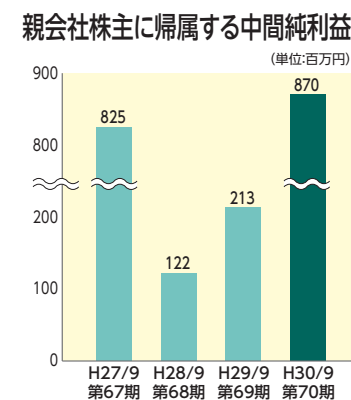
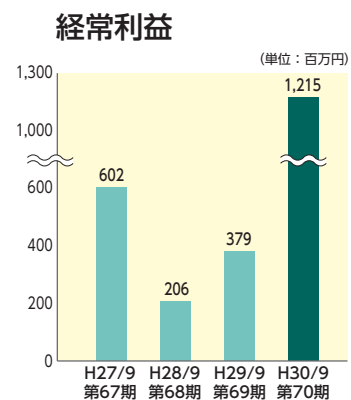
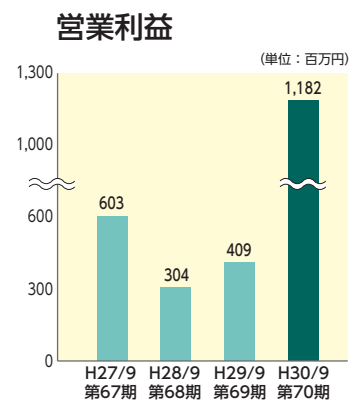
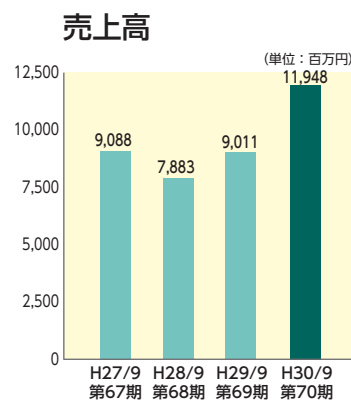
特別損益では1千万円以上の発生科目は無く、法人税、住民税及び事業税3億4千4百万円、法人税等調整額マイナス1千2百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比6億5千6百万円増（同307.3%増）の8億7千万円となりました。

今後の見通し

世界経済は全体としては緩やかな回復基調ではあるものの、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中国等新興国経済の減速に加えて、中東や朝鮮半島における地政学的リスク等、先行き不透明な状況であります。わが国経済も、世界経済の変調や急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される状況であります。

このような環境下ではありますが、当社グループにおきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成30年10月26日に業績予想および配当予想の修正を行っております（詳細は平成30年10月26日付「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください）。今後も、コアビジネスにおける更なる競争力強化、グループ内での連携強化、新規販売分野の開拓・拡大のスピードアップ等、重点施策を着実に実行し、修正計画の達成に注力してまいります。

財務ハイライト(連結)



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当中間期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在
【資産の部】		
Point 1 Point 2 流動資産	16,749	16,259
Point 2 固定資産	5,643	5,786
有形固定資産	4,309	4,454
無形固定資産	379	400
投資その他の資産	954	931
資産合計	22,392	22,046
【負債の部】		
Point 3 Point 4 流動負債	9,187	9,610
Point 4 固定負債	3,946	3,769
負債合計	13,134	13,380
【純資産の部】		
株主資本	8,745	7,960
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	6,742	5,957
自己株式	△43	△43
その他の包括利益累計額	358	556
非支配株主持分	154	149
Point 5 純資産合計	9,258	8,665
負債純資産合計	22,392	22,046

Point 1 流動資産の状況

流動資産は、前期末に比べて、受取手形及び売掛金が減少しましたが、仕掛品、原材料及び貯蔵品、現金及び預金が増加したこと等により4億8千9百万円増加し、167億4千9百万円となりました。

Point 2 固定資産の状況

固定資産は、前期末に比べて、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、投資有価証券が減少したこと等により1億4千3百万円減少し、56億4千3百万円となりました。

Point 3 流動負債の状況

流動負債は、前期末に比べて、支払手形及び買掛金が増加しましたが、短期借入金、前受金、未払金が減少したこと等により4億2千2百万円減少し、91億8千7百万円となりました。

Point 4 固定負債の状況

固定負債は、前期末に比べて、社債、退職給付に係る負債が増加したこと等により1億7千6百万円増加し、39億4千6百万円となりました。

Point 5 純資産の状況

純資産合計は、前期末に比べて、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したこと等により5億9千2百万円増加し、92億5千8百万円となりました。

(注) 前期末の数値につきまして、会計基準の変更により一部数値が変更されております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	当中間期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前中間期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	11,948	9,011
売上原価	8,230	6,380
Point 6 売上総利益	3,718	2,631
販売費及び一般管理費	2,535	2,221
営業利益	1,182	409
営業外収益	83	20
営業外費用	50	50
Point 7 経常利益	1,215	379
特別利益	0	0
特別損失	2	1
税金等調整前中間純利益	1,213	379
法人税、住民税及び事業税	344	209
法人税等調整額	△12	△45
中間純利益	880	215
非支配株主に帰属する中間純利益	10	1
親会社株主に帰属する中間純利益	870	213

Point 6 売上総利益の状況

売上高が増加したことにより売上総利益が増加し、売上総利益率も29.2%から31.1%に改善しました。

Point 7 経常利益の状況

為替差益が5千2百万円発生し、経常利益が増加しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当中間期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前中間期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
Point 8 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,116	△455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588	358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	373	△296
現金及び現金同等物の期首残高	4,391	4,213
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,765	3,916

Point 8 営業活動によるキャッシュ・フロー

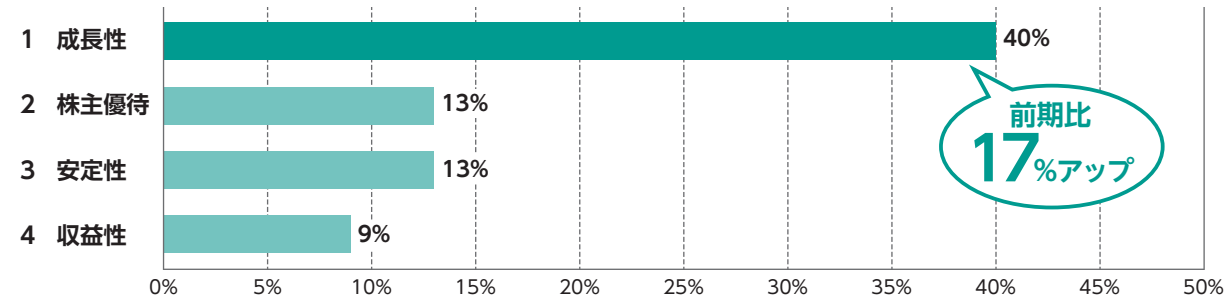
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が12億1千3百万円となり、減価償却費1億4千7百万円、売上債権の減少2億5百万円、仕入債務の増加1億6千3百万円等の収入要因と、たな卸資産の増加4億7千2百万円、法人税等の支払額1億8千万円等の支出要因により、11億1千6百万円の収入超過(前年同期は4億5千5百万円の支出超過)となりました。

TOPICS

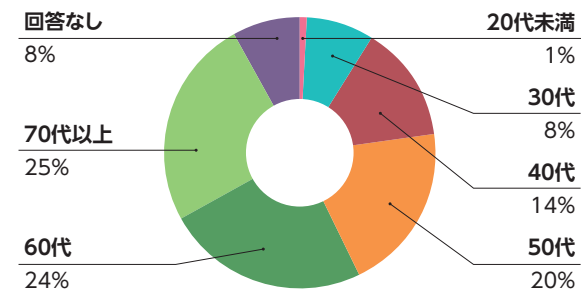
株主アンケート結果のご報告

平成30年3月31日時点で当社株式500株以上を保有する株主のみなさまを対象に株主アンケートを実施し、705名の方々からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答の中から一部をご報告いたします。

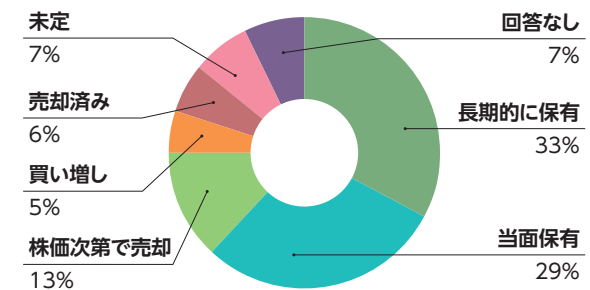
● 当社株式の購入理由 (上位4項目)



● 年齢構成



● 会社株式の今後の方針



● 株主優待寄付金

寄付にご賛同くださった株主のみなさまにつきまして、今年も社会貢献活動団体（前年同様）に11月上旬に寄付をいたしました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

寄付金総額 443,000円 → 日本赤十字社 221,500円 赤い羽根共同募金 221,500円

代表取締役社長の交代

平成31年1月1日をもって、当社の代表取締役社長が白井英徳から白石 互に交代いたします。詳細は、平成30年10月31日付の「代表取締役の異動に関するお知らせ」（当社HPに掲載）をご覧ください。

カワタ GLOBAL NETWORK

アジア



北中米



日本



国内 主な事業所

本社	大阪市西区	静岡営業所	静岡市駿河区
大阪営業所	大阪市西区	名古屋営業所	名古屋市東区
仙台営業所	仙台市太白区	広島営業所	広島市南区
北関東サービス	群馬県高崎市	九州営業所	福岡市博多区
埼玉営業所	埼玉県川口市	三田工場	兵庫県三田市
東京営業所	東京都中央区	東京工場	埼玉県川口市
南関東営業所	神奈川県厚木市	大阪工場	大阪市西成区

(株)サーモテック	大阪市西成区
エム・エルエンジニアリング(株)	静岡県藤枝市
(株)レイケン	東京都中央区
(株)カンゲン	東京都中央区

会社情報

会社の概要 (平成30年9月30日現在)

商号	株式会社カワタ (KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	243名 (連結821名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)

取締役 (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長	白井英徳
常務取締役	白石 亙
取締役	柴孝幸
取締役	藤坂祐宏
取締役	高塚雅博
取締役常勤監査等委員	城豊治
取締役監査等委員	伊藤芳伸
取締役監査等委員	石田章
取締役監査等委員	飯塚 一雄

株式情報

(平成30年9月30日現在)

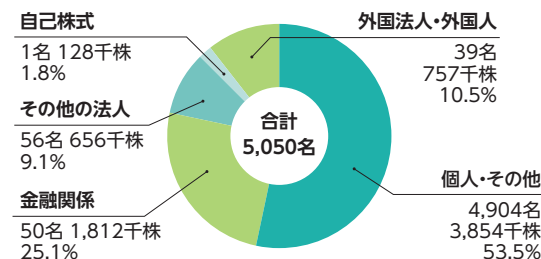
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,210,000株
単元株式数	100株
株主数	5,050名 (前期末比1,302名減)

大株主の状況

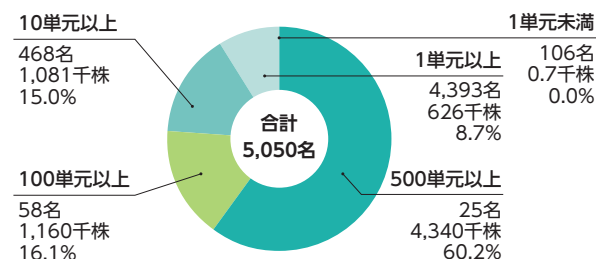
株主名	持株数
カワタ共伸会	753,100株
(株)三菱UFJ銀行	351,000
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	350,746
高塚雅博	350,000
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	326,100
カワタ従業員持株会	316,980
NOMURA PB NOMINEES LIMITED A/C CPB30072482276	167,000
高塚順	150,000
川田昌美	149,442
川田修弘	144,000

(注) 上記のほか、自己株式が128,221株あります。

所有者別分布表



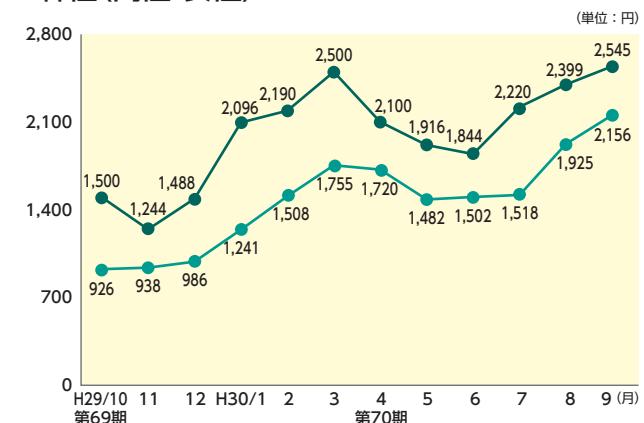
所有株式数別分布表



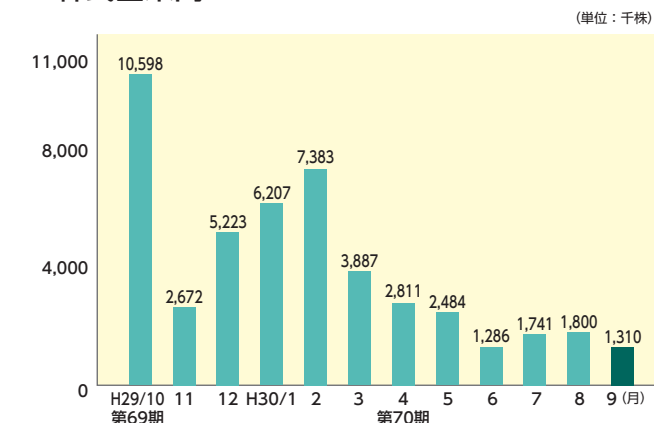
株式情報

株価チャート

株価(高値・安値)



株式出来高



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)

公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
------	--

当社ホームページ
(<http://www.kawata.cc/>) に掲載

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。